

畔蒜清正氏

助役に就任



正 清 蒜 畔 助 役

農業政策があまりにも過保護ではないかと言われ、農業立町を唱えるわが光町にも、非常にきびしさを要求されるのではないかと懸念されるのであります。

このような極めて困難な社会情勢下に於きまして、齊藤町長は若さと英知を持って、必ずや活力ある光町を建設していくものと確信いたすところであります。

す。

私は、齊藤町政の補佐役として、微力ではありますが身命を賭して、職責を全うする決意でございます。

町民の皆様方には、尚一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いよりお願い申し上げます。就任の御挨拶といたします。

十一月一日付で、畔蒜清正氏が助役に就任されました。

二十一日には、議会議員、町内各種団体長さん始め、大勢の方がたが出席され、町主催による就任の祝賀会が行われました。

▲「必ずや、皆様のご期待に答えてくれるものと確信しております」と齊藤町長があいさつ

補佐役として 全力を傾注

この度、計らずも光町助役を拝命いたしました事は、誠に光榮に存すると共に、僭越極まりないところでございます。しかしながら、その任務の重大さを考えます時、身の引き締まる思いであります。

今日、我国は行財政改革が叫ばれ、公社の民営化が進み、国鉄も民営化されようとしております。このさう勢の中で、



海匠銚・子ども会育成

連絡協議会表彰を受賞

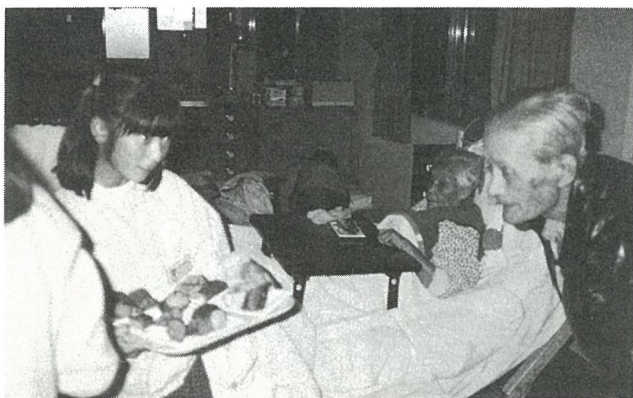
個人の部 花 沢 志 枝さん (橋場)
団体の部 小田部子ども会育成会

この表彰は、青少年の健全育成に尽力された個人、又は団体に贈られるもので、花沢志枝さんは昭和五十三年以来、子ども会育成会員として、又五十五年十月からは青少年相談員として三年間青少年の健全育成に貢献されたため今回の受賞となりました。

小田部子ども会育成会(代表 鈴木一郎さん)は、昭和五十三年四月結成以来、子ども会活動の協力組織として積極的に活躍された功績により今回の受賞となりました。

白浜小五年生

光楽園老人ホームを慰問



白浜小学校の五年生が、自分で作ったさつま芋を持って、光楽園老人ホームを慰問しました。老人ホームでは、さつそく大学芋やふかし芋を作りました。五年生の皆さんは、出来たてのお芋を各自持って、お年寄りの方がたの部屋へ届けに行き、一緒に食べました。

話しをしたり、歌を歌ったりとても和やかな一日を過ごしました。